

リガーとオールロックは、メーカー・艇種により様々なタイプがあるので、できるだけ多くの構造を経験しておきましょう。

1 アウトリガー

Out Rigger

オールの支点となるオールロックを支えるために、ガンネル(舷側)から外に突き出したフレームを、リガー(アウトリガー)といいます。金属製のパイプや新素材を用いたウイング・リガーなど、さまざまなタイプがあります。



オールの支点(ピボット)を支えるアウトリガー

2 バックステイとターンバックル

Back stay

バックステイ(トップステイ)には、長さ調整用のターンバックルがついている場合があります。オールロックの角度を調整する部品ではないので、先にオールロック部分を正確に組みつけ固定し、その後でそれに合わせてバックステイの長さを調整します。

右ネジと左ネジ(逆ネジ)を持つタイプは、調節するときに、両方のロックナットを緩め、バックル部分のネジをまわして調整します。片方だけを回転させてはいけません。ホースクランプのタイプは、プラスチックピースを確実に支える位置に密着させ、またクランプのベロをできるだけリガーの内側に向けて飛び出さないように注意します。



トップステイのターンバックル。左ネジに注意。

3 リガーの整備

Maintenance

艇を持つとき、リガーで持ち上げたり支えたりしてはいけません。ただしシングルスカルなどでは、その根元を持ってよいでしょう。リガーが、地面や他の艇に接触しないよう、艇を裏返すときや艇庫内では充分に注意しましょう。また乗艇後はよく洗って拭いておきましょう。溶接部に亀裂が無いかよく点検しましょう。

4 オールロック、(オアロック)

Oarlocks

オールロック(オアロック)は、ロウロックとかクラッチともいいます。リガーの先端に取り付け、オールを支える重要部品です。なお、オールロックアセンブリとは、「オールロックとそれを支える

台座部分全体」を意味します。オールロックには、その固有カバー角を調整するため、偏心ブッシュを交換するタイプやフェイスを交換するタイプがあります。

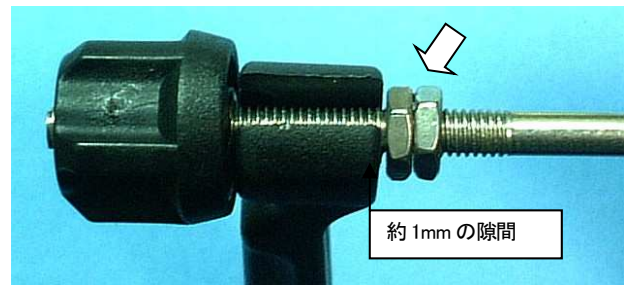


フェイスを交換するタイプのオールロック(マルチノリ製)

5 ゲートピン

Gate and Lock nut

オールロックのゲートには小さなナイロンナットまたはダブルナットがついています。これはゲートの締りすぎを防ぐもので、適切な位置にないと、オールロックの内径が小さくなりすぎ、シャフトの回転に支障をきたすので、正しい位置(約1mm程度、隙間を空けた位置)で固定します。



ゲートのロックナット。小さな部品だが重要。

6 オールロック台座

Basement

オールロックを支える台座は、オールロック回転軸の、前傾と外傾、高さ、リガースプレッド(またはスパン)などを調整する機能があります。リガーとの組合せで、さまざまなタイプがあります。



L板(左)や、ウイング・リガーのブロック